



はたのっこ

令和8年10月号
しぶたに学園
池田市立秦野小学校



暑かった気候も9月中旬を過ぎ、ようやく秋らしい爽やかさが感じられるようになりました。しかし、今年は全国各地で豪雨による災害が相次いでいます。台風の発生が多くなる10月ですが、子どもたちの安全を守るためにも、決められた通学路を正しく守って登下校するよう指導してまいります。

さて、9月に開催いたしました学習発表会では、子どもたちが夏休み前から重ねてきた練習の成果を十二分に発揮することができました。これも偏に、保護者や地域の皆さまの温かい支えとご声援のおかげと、心より感謝申し上げます。

今月は、運動会に向けての練習が始まります。秋とはいえまだ暑い日も残りますので、熱中症には十分留意しながら取り組んでまいります。今後とも子どもたちへの温かい励ましと応援をよろしくお願いいたします。



全国学力・学習状況調査の結果について

国語

平均正答率：本校 59.0% 全国60.9%

	区分	本校 (%)	全国 (%)	本校-全国	本校-全国 (昨年度)	本校の傾向 △:得意 ▼:苦手
知識の活用	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	61.3	66.8	-5.5	-6.7	▼▼▼
	(2) 情報の扱い方に関する事項	55.6	52.3	3.3	2.3	△△
	(3) 我が国の言語文化に関する事項				-0.4	
思考力・判断力・表現力	A 読むこと・聞くこと	63.0	65.8	-2.8	-6.5	▼▼
	B 書くこと	46.3	45.7	0.6	0.7	△
	C 読むこと	61.6	65.9	-4.3	-2.2	▼▼
評価の観点	知識・技能	59.4	62.0	-2.6	-2.8	▼▼
	思考・判断・表現	57.8	60.1	-2.3	0.8	▼
	主体的に学習に取り組む態度					
問題形式	選択式	61.3	61.9	-0.6	1.3	▼
	短答式	56.0	62.6	-6.6	-4.1	▼▼▼
	記述式	48.6	54.9	-6.3	-1.1	▼▼▼

算数

平均正答率：本校 52.0% 全国 56.4%

	区分	本校 (%)	全国 (%)	本校-全国	本校-全国 (昨年度)	本校の傾向 △:得意 ▼:苦手
学習指導要領の領域	A 数と計算	56.6	61.1	-4.5	0.1	▼▼
	B 図形	53.0	55.3	-2.3	-0.9	▼
	C 測定	74.1	78.1	-4.0	-1.9	▼▼
	D 変化と関係	38.3	41.1	-2.8	-0.1	▼▼
評価の観点	知識・技能	55.9	60.1	-4.2	-1.0	▼▼
	思考・判断・表現	39.1	45.4	-6.3	0.2	▼▼▼
	主体的に学習に取り組む態度					
問題形式	選択式	48.9	56.0	-7.1	0.1	▼▼▼
	短答式	57.3	59.7	-2.4	-1.2	▼
	記述式	41.7	48.5	-6.8	0	▼▼▼

4月に実施された全国学力・学習状況調査(対象：6年生)について、本校の平均正答率は、国語も算数も全国平均を下回りました。以下、概要をお伝えするとともに、結果については、教育指導の充実や授業改善に努めてまいります。

全体として、選択式の問題では全国平均を上回る設問も多く、文章や資料から必要な情報を捉えたり、情報と情報との関係を整理したりする力の伸びが見られた。一方で、個々の情報を捉えることにとどまらず、複数の情報を関連付け、文章全体の構成や筆者の意図、表現の工夫まで捉えることには課題が見られた。

特に、問題□では、構成メモや映像などの情報を「何を伝えるためのものなのか」という目的と結び付けて捉えること、問題△では、文章全体の内容を理解した上で、必要な箇所を引用し、自分の考えを根拠に基づいて書くことに課題が見られた。また、問題▽では、複数の条件を満たして自分の考えを記述する問題で無回答率が高く、文章を粘り強く読み、自分の経験と結び付けて考えをまとめる力や、時間配分を考えて最後まで取り組む力についても課題が明らかになった。漢字についても、引き続き継続的な指導が必要である。

これらの結果から、今後は、「情報を個別に捉える」ことから「情報をつなぐ」ことへ、さらに「情報を根拠として自分の考えを表現する」ことへと学びを深めることを引き続き重視したい。具体的には、文章や資料を読む際に「何が書かれているか」だけでなく、「なぜこの情報が必要なのか」「何と何がつながっているのか」などと問いながら読む活動を充実させる。また、教材文や日常の会話、児童の発言・作文などから、比喩や反復などの表現の工夫を見付け、その効果や意図を共有する場を設定する。さらに、根拠を明確にして書く、条件に沿って書く、書いたものを読み返してより伝わる表現に直すといった言語活動を積み重ねることで、情報を関連付け、自分の気持ちや考えを自分の言葉で表現する力の育成につなげていきたい。

今回の結果から、本校では、小数の表し方や整数・小数の計算など、基本的な知識・技能については概ね定着していることが分かった。一方で、図形、割合、分数、表やグラフの活用に関する問題では、全国平均を下回る設問が多く、既習の知識や技能を問題場面に応じて活用し、数量や図形の関係を捉えることに課題があると考えられる。

図形領域では、立体と平面の図形概念や、直方体を構成する面の位置関係を捉えることに課題が見られた。また、体積の意味を捉えて必要な情報を選択したり、図形の性質を活用して求め方を説明したりすることにも課題が見られた。割合や単位量当たりの大きさについても、計算によって答えを求めるだけでなく、基準量・比較量・割合の関係や、求めた商が何を表しているのかを問題場面と関連付けて捉えることに課題が見られた。さらに、分数においては、大小関係を判断する際に、分数の意味や数量の関係に着目し、その根拠を説明することに課題があった。

大問4では、表やグラフから必要な情報を読み取り、複数の情報を関連付けて判断することに課題が見られた。特に、二次元の表から複数の条件を整理して必要な情報を取り出す問題の正答率が低く、資料を正確に読み取るだけでなく、情報を関連付けて考える力の育成が必要である。

これらを踏まえると、本校の課題は、個々の知識・技能の習得だけでなく、「何が分かっているのか」「何を求めるのか」「その数値や式は何を表しているのか」を問題場面と結び付けて捉え、既習の知識や技能を活用して考えることにありと考える。今後は、具体物や図、表、グラフ、数、式、言葉などを相互に関連付けながら数量や図形の意味を捉える活動を充実させるとともに、根拠を明らかにして考え方を説明し、他者と伝え合う学習を積み重ねていきたい。こうした学習を通して、根拠をもとに自分の考えを表現し、他者と伝え合いながら学びを深める力の育成につなげていきたい。

結果全体の傾向として本校児童の回答は府や全国の結果とくらべて強肯定の割合が少ない。肯定的回答の割合で見ると対府や全国で見ても大きな差がない回答についても強肯定の回答は著しく低い場合が多い。

個別の回答で見ると、本校の児童は、「自分にいいところがある」と肯定的に回答している児童が多く、「先生は自分のよいところをほめてくれる」や「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」の数値も高いことから、普段からの教師と児童との関係を作りや声かけには一定の成果があると考えられる。

また、「人と違う意見を言っても否定されない」（肯定 82.8%）や「友だち関係に満足している」（肯定 92.1%）といった回答については比較しても数値が高く、児童同士の関係づくりについても一定の成果がみられると考える。

一方で、研究目標にも関わりを持つ設問で、「学校に行くのは楽しい」と肯定的に思っている児童は 87.4%（強肯定 50.5%）となっており、全校平均と大きな差は見られない。

さらに、「人が困っている時に助けるか」や「いじめはどんな理由があってもいけないと思うか」については、全国や府の平均よりも数値が低く、児童同士の関係を考えていく上で課題とみられる。

学習に関わっては、国語・算数・外国語において「得意か」「好きか」という質問についてどれも全国平均よりも課題が見られる。肯定的回答全体で見ると算数・外国語については大きな差はみられない。国語については肯定的回答自体が低く、大きく課題を感じている。

現在進められている指導要領改訂に向けた議論の中でも、国際調査の結果としては好調なものの教科を学ぶ意味を感じられていなかったり、好きと感ぜられなかったりしているという課題が挙げられている。その教科自体における内容の理解についても重要であるが、その教科ならではのよさを感じたり、得意だと思ったり、何より好きだと感じたりすることも大切にして指導をすすめていきたい。

読書については大きな成果が見られる。1 日の読書量について2時間以上と答えた児童は 10.8%（府、全国平均5%）で全くしないという児童も平均と比べて少ない。2 年前から取り組んでいた並行読書の成果ともいえるのではないかな。

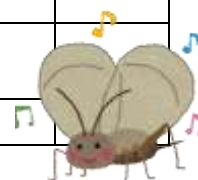
これらのことより、日々取り組んでいることについて児童がより自覚化できるよう「今、あなたたちが取り組んだことは、こういうことだよ」「こういうよさがあったね」と明示的に指導したり価値づけたりすることを指導者が意識することも一定必要なのではないかと考える。

また、友だち関係や集団の関係上のよさを生かして、困っている人を助けたりする風土を育てることで、いじめを許してはならないという雰囲気や、自己有用感を醸成していくことを心がけ、日々子どもたちと接していくことが肝要である。

何より1日の学校で過ごす時間の大半を占める授業時間において、子どもたちが「学習が好きだ」「学習が楽しい」と感じられるような授業改善に、日々の授業や校内研究等を通じて臨んでいく必要があるだろう。



		主な予定	キッズ
1	木	4年連合音楽会 4年以外 13:15 下校	
2	金	5年出前授業(防犯教室)3限	
3	土		
4	日		
5	月	A日課 3年スーパーマーケット見学	4～6年おはなし会
6	火	A日課 SC来校日	
7	水	A日課 はたのっこタイム	
8	木		
9	金	学校納入金振込日	
10	土		
11	日	住民大運動会	
12	月	スポーツの日	
13	火	運動会練習開始 SC来校日	
14	水	A日課 児童集会 委員会	○
15	木	A日課	
16	金		
17	土		
18	日		
19	月		
20	火	6年こころの劇場 SC来校日	
21	水	A日課 委員会(運動会係打ち合わせ)	
22	木		
23	金	全体練習①	
24	土	畑天満宮秋祭り	
25	日	畑天満宮秋祭り	
26	月	あおぞら幼業間交流(2・4年) 学校納入金振替日(再)	
27	火	全体練習② SC来校日	
28	水	A日課 団体競技会(観覧可 8:50～10:00)	○
29	木	団体競技会予備日	
30	金	6年運動会前日準備 1～5年 13:20 下校 PTA 市民ボール(五月山体育館)	
31	土	運動会 12:20頃下校予定	



<11月の主な予定>

11月 1日(日)運動会予備日①
 2日(月)代休
 4日(水)クラブ
 5日(木)運動会予備日②
 6日(金)弁当持参(1日が運動会の場合代休)
 11日(水)6年連合競技大会 1～5年下校12:40
 12日(木)6年連合競技大会予備日

13日(金)火災避難訓練
 連合美術展(～11/15)
 17日(火)A日課
 18日(水)13:30 下校 創立記念日
 25日(水)はたのっこタイム
 26日(木)A日課
 27日(金)公開授業研究会